

## DALI 2ch. コントローラ

# NTS-LC/SD2CH/01

### 製品仕様

- 品番 NTS-LC/SD2CH/01
- 定格電圧 AC100V~240V (±6%)
- 動作電流 15mA以下
- 定格周波数 50Hz/60Hz共用
- 制御信号出力 DALI(DT8)信号 100mA MAX
- 制御信号消費電流 4mA(コントローラ本体)
- 使用温度範囲 0~40℃

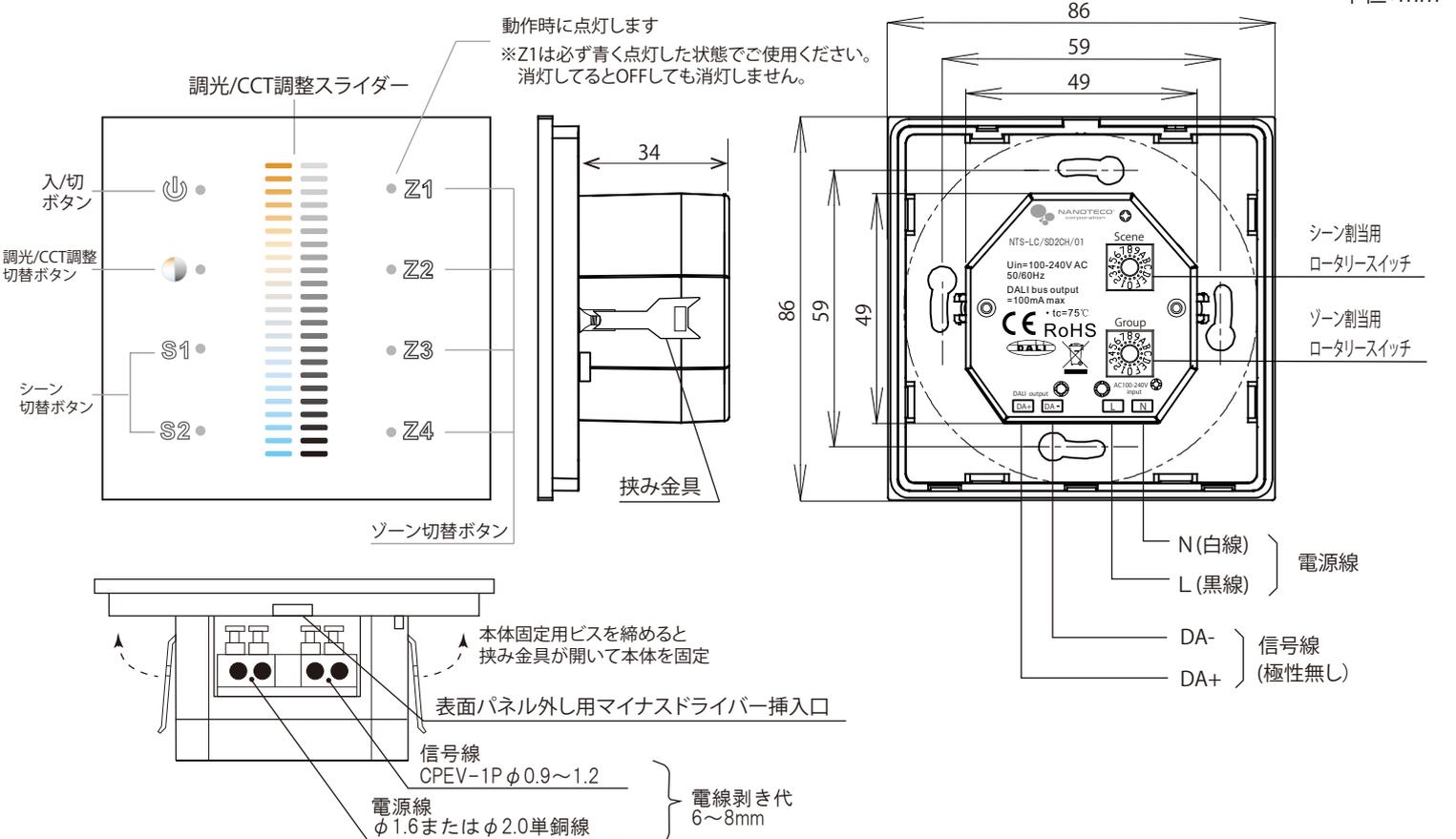
### 適合機器

DALI DT8 調光対応LEDドライバーに適合します

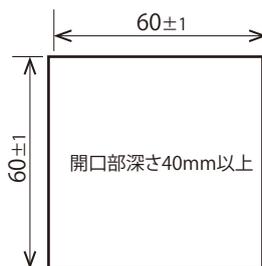
株式会社ナノテコ 東京都調布市小島町1-1-1  
 国立大学法人 電気通信大学  
 UECアライアンスセンター 418号室  
 TEL.042-486-6711  
 info@nanoteco.com

お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。  
 取付工事は電気工事に必ず依頼してください。  
 この説明書は取付工事が終わりましたら製品をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

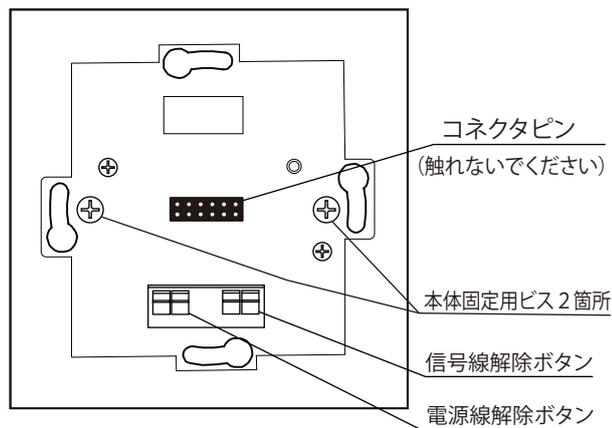
単位:mm



### 【取付穴寸法】



### 【表面パネルを外した本体】

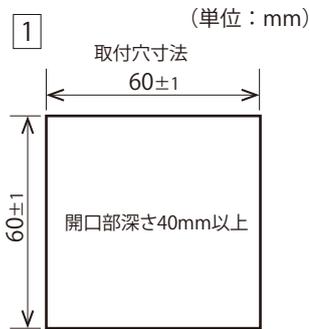


 3台目以降は電源接続不可  
(火災の原因)

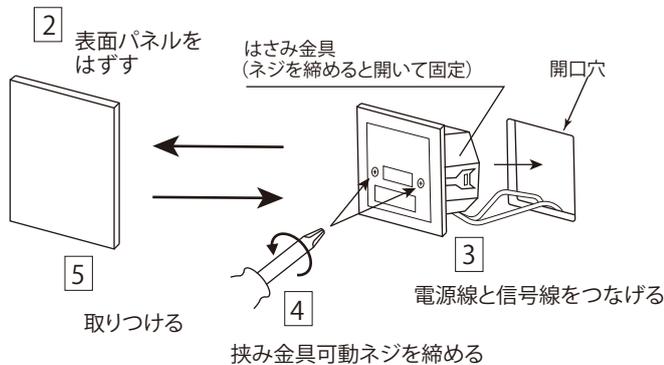
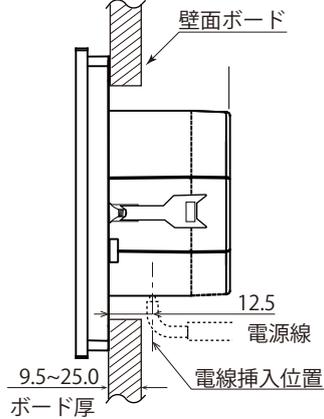
# NTS-LC/SD2CH/01

## 取付方法

### 取付手順



コントローラ取付面のボードが厚い場合は電線とボードの干渉にご注意ください。



1. 本体取付用の穴(寸法60mm±1×60mm±1)をあけてください。
2. 本体の表面パネルを外してください。
3. 配線図に従い本体に電源線、信号線(極性なし)を接続してください。  
※電線の剥き代はどちらも6~8mmです  
※2台以上設置してご使用される場合には必要に応じて背面のロータリースイッチの設定をしてください。(次頁のご使用方法参照)
4. 本体を開口穴に入れ、ドライバーで本体固定ビスを締めるとはさみ金具で確実に固定してください。(ビスを締めると挟み金具が開きます)
5. 表面パネルを本体に取り付けてください。

## 器具設置台数

コントローラを使用する条件に応じて下記表のように最大接続数が変わりますのでご注意ください。

使用条件	最大設置数
コントローラ1台設置の場合	50台
コントローラ2台以上設置した時に コントローラ2台にAC給電する場合	64台

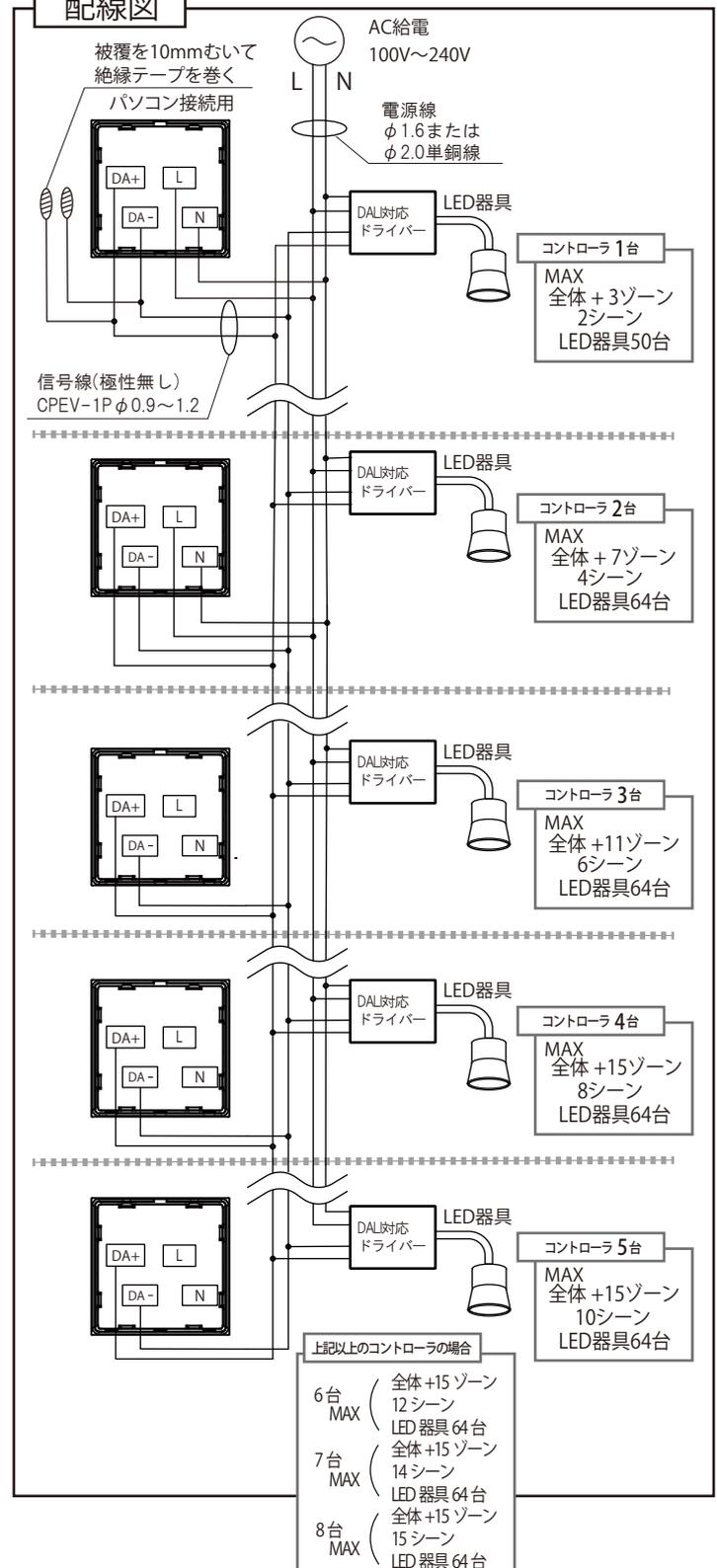
ご注意：64台を超えて器具を設置した場合は65台以降の器具はDALIのアドレス設定はできません。

※コントローラを2台以上使用する場合AC給電は1台のみで他のコントローラは信号線接続のみで動作いたします。  
尚、負荷を50台を越えて接続する時はコントローラ2台にAC給電してください。(3台目以降のコントローラにはAC給電しないで下さい。火災の原因になります)

## 結線方法

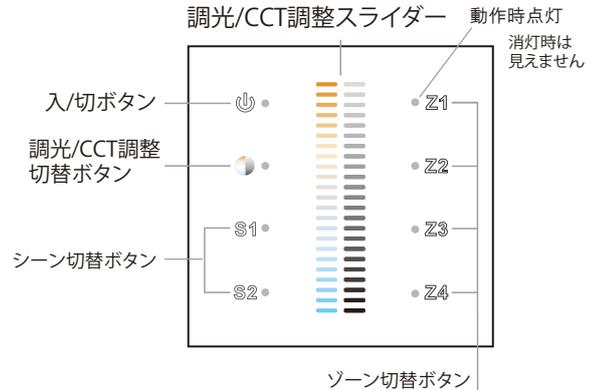
- 結線の際は必ず電源を切ってから行ってください。
- 電源配線はφ1.6またはφ2.0の単銅線をご使用ください。
- 信号配線はOPEV-1P φ0.9~φ1.2をご使用ください。
- コントローラを2台以上使用時1台には電源線と信号線を接続し残りのコントローラには信号線のみ接続でも動作可能です。この場合、設置器具台数は最大50台となりますので50台を超えて器具設置する場合はコントローラ2台に電源線と信号線を接続してください。但し、3台目には電源線を接続しないでください。
- 信号線最大配線長：200m(100mを超える場合はφ1.2電線で施工を推奨)
- ゾーン設定するための信号線を(長さ10cm) 接続してコントローラ設置場所の壁裏に出しておいてください。

### 配線図



## ご使用方法

- 各操作はコントローラ表面を指でタッチして行います。
- 調光/CCT※調整切替ボタンをタッチすると調光/CCT調整スライダーでの変更できる機能を切り替えることができます。  
(切替ボタン機能: 白く点灯で明るさ、黄色く点灯で色温度)
- ゾーンボタン(Z1~Z4)を押すと表示灯の青がON/OFFします。調光/CCT調整スライダーでは、表示灯が青のゾーンの器具を制御できます。
- 同時に複数のゾーンの表示灯を青の状態にして調光しないでください。ゾーンごとに個別に調光操作をしてください。
- 各ゾーンの電源の入/切はゾーンボタンを長押しして行ってください。  
(表示灯 黄色で消灯)  
調光調整スライダーで明るさを最小にしても消灯しません。
- 入/切ボタンは、コントローラ自身の操作をOFF/ONにするとともに、表示灯が青のゾーンの消灯/点灯を行います。点灯時はそのゾーンを消灯する前に調光調整スライダーで調光した明るさに戻ります。
- 入/切ボタンで全ゾーンの照明を消灯する場合は、「全体」を指定したゾーンの表示灯が青い状態か、すべてのゾーンの表示灯を青の状態で作ってください。
- 入/切ボタンでコントローラをOFF時に表示灯が青でなかったゾーンに対しては、ON操作後に調光やシーン操作ができない場合があります。その場合は、該当のゾーンボタンを2回長押しして、表示灯が青い状態で操作してください。
- 本体に通電した瞬間は一瞬明るく点灯しますが直後に電源遮断する前の明るさに戻ります。
- 出荷時はZ1ボタンで全ての器具を制御できる設定になっており、Z1ボタンの表示灯が青く点灯しています。



## シーンの設定

- シーンボタンのS1、S2には明るさと色温度を記憶させる事ができます。  
【シーンの記憶方法】

  - ① 各ゾーンを記憶させたい明るさと色温度に調節します。
  - ② シーンボタンを長押しするとボタンが点滅した後、一瞬明るく点灯しその後調節した明るさと色温度になります。
  - ③ ②の設定後はシーンボタンを押すと調節した明るさと色温度になります。各シーンの明るさは、器具側に記憶されます。

- 消灯状態のシーン設定について  
シーンボタンによる明るさの記憶または呼出しは、ゾーンボタンの表示灯が黄色でないゾーンの器具に対して指示が送られます。消灯状態(表示灯が黄色)をシーンとして記憶・呼び出しする場合は、以下の手順で行ってください。

  - ① ゾーン割当用ロータリースイッチで、必ず「全体」を含むようにゾーン番号を割り当てます。(通常はZ1が「全体」)
  - ② 個別のゾーンボタンで操作対象のゾーンを選択(表示灯を青色)して、調光/CCT調整スライダーで好みの明るさに調整します。消灯状態を記憶させる場合は、該当のゾーンボタンを長押しして消灯状態(表示灯を黄色)にします。
  - ③ 全体用のゾーンボタンを操作して、表示灯を青色(黄色でない状態)にします。
  - ④ シーンボタン(S1、S2)を長押しします。

シーン呼び出し時も、全体用のゾーンが有効な状態でシーンボタンを押してください。

## ● 2台以上のコントローラで4種類以上のシーン設定をする方法

1台のコントローラにはシーンボタンは2個ですがコントローラ背面にあるロータリースイッチの位置を変更してシーン割当を変更し最大で8台のコントローラを使用した場合16種類(0~15)のシーンを設定する事ができます。2台目以降のコントローラで、シーンとして設定される対象の器具は、ゾーン割当用ロータリースイッチで本器具に割り当てたゾーンに含まれる器具が対象です。全ての器具を対象とする場合は、右下の【ゾーン割当図】のように、コントローラのゾーンボタンに割り当てるゾーンに全ての器具を含めてください。(この場合、個別に制御可能なゾーンは最大12個となります)

### 2台のコントローラを使用する例

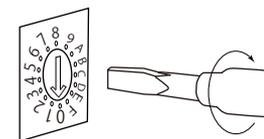
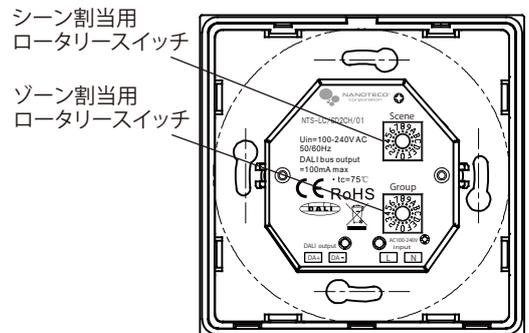
コントローラAのロータリースイッチを0、コントローラBのロータリースイッチを2に設定すると下記の様になり、0、1、2、3の種類のシーンを設定する事ができます。

**コントローラA、Bのロータリースイッチ位置**

コントローラAのロータリースイッチを0にするとS1ボタンは0番、S2ボタンは1番、S3ボタンは2番に割り当てられます(シーン割当表参照)

コントローラBのロータリースイッチを3にするとS1ボタンは3番、S2ボタンは4番、S3ボタンは5番に割り当てられます(シーン割当表参照)

## 【コントローラ裏面】



ロータリースイッチは細いマイナスドライバー(幅2mm)で位置変更をしてください  
→の先端部が所定の位置にくるように回してください。

## 【ゾーン割当図】

天井面 【16台の器具が設置されている場合の例】

図では16台の器具を6つのゾーンに分けてゾーンごとに点灯、消灯、明るさの変更が可能になります。また、ゾーン3を全ての器具を含むゾーンとして設定することで2台のコントローラで各々全器具と個別の3つのゾーンを制御することができます。

## 《シーン割当表》

コントローラ A (ロータリースイッチ 0)	S1 0	S2 1			コントローラ B (ロータリースイッチ 2)	S1 3	S2 4									
ロータリースイッチ 位置	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
S1シーン割当番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
S2シーン割当番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	0

### ご注意

コントローラ毎に設定したシーンは、そのコントローラに設定されているゾーンのみ制御が可能です。

全ての器具に対しシーンを設定する為には、シーン設定するコントローラのゾーン割当用ロータリースイッチを0に合わせるか、または、ゾーンボタンの一つに全ての器具を指定する設定をしてください。(DALIアドレスの設定)

### グループの設定

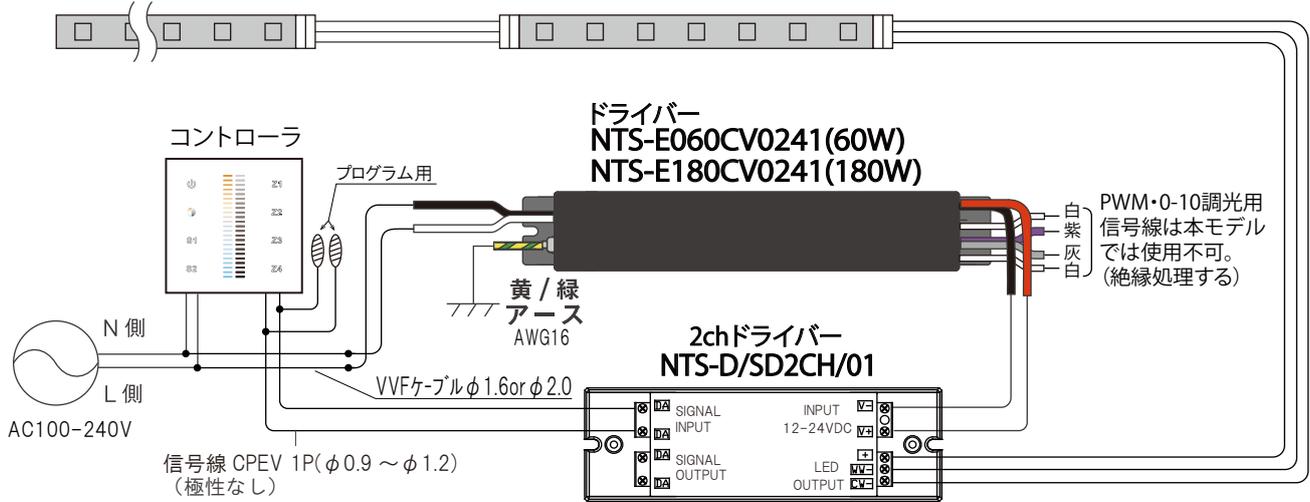
- ゾーンボタンのZ1、Z2、Z3、Z4には異なるゾーンを設定することができます。  
1台のコントローラにはゾーンボタンは4個ですがコントローラ背面にあるロータリースイッチの位置を変更してグループ割当を変更し最大で5台のコントローラを使用した場合16種類(全体、0~14)のゾーンを設定することができます。  
但し、全ての器具にシーンを設定する為には全ての器具を指定するゾーンボタンがひとつ必要ですので、全てのコントローラで全ての器具に対するシーンを設定する時には5台のコントローラを使用した場合に設定できるゾーンは15種類までになります。  
ゾーンの設定ではパソコンを使用して器具にDALIアドレスを割付する必要があります。(設定用ソフト、USB-DALI インターフェースも必要)  
(詳しくは弊社営業担当にお問い合わせをお願いいたします)

### 《ゾーン割当表》

コントローラ A (ロータリースイッチ 0)	Z1 全体	Z2 0	Z3 1	Z4 2			コントローラ B (ロータリースイッチ 4)	Z1 3	Z2 4	Z3 5	Z4 6					
ロータリースイッチ 位置	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
Z1ゾーン割当番号	全体	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
Z2ゾーン割当番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	全体
Z3ゾーン割当番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	全体	0
Z4ゾーン割当番号	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	全体	0	1

## ConsciLed D LINE スペクトルモデレーションタイプにご使用の場合の配線

### ConsciLed D LINE スペクトルモデレーション



### 注意事項

- 器具は説明書に従って正しく取り付けてください。  
電気工事は必ず電気店や工事店等の有資格者が行ってください。
- 表示されている定格を守ってください。定格負荷以上になるとコントローラが壊れます。
- このコントローラは半導体を使っており、周囲温度の高い場所では故障する事があるので、使用温度範囲(0~40℃)は必ず守ってください。  
使用湿度範囲(8%~80%)を超える場所や腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
- 複数の器具で調光/CCT調整をした場合、器具のパラツキにより明るさや色温度が一致しない事があります。
- 調光/CCT調整をした場合、器具のドライバーからうなり音がでる場合がありますが、故障ではありません。
- 端子台に電線を差し込む時は奥まで確実に挿入してください。  
電線の挿入不足は故障や火災の原因になります。  
曲がった電線、傷のある電線、変色した電線は使用しないでください。  
故障や火災の原因になります。
- 複数のコントローラを設置した場合、操作しているコントローラが優先されます。
- このコントローラは雑音防止回路を備えてありますが、ラジオ・ステレオ等の音響装置に雑音障害が生じることがありますので、次の予防対策を行ってください。
  - ラジオ・ステレオ等の装置にアースを確実に取付けてください。
  - ラジオ・ステレオ等の装置にアンテナを取付けてください。
  - コントローラとラジオ・ステレオ装置等のアンテナ・アースとは1m以上離してください。
- ちらつきが発生する場合がありますのでコントローラの電源は他の電気製品とは別電源にしてください。(他社調光器含む)
- お手入れについての注意事項
  - 汚れた時は柔らかい布で拭いてください。
  - 汚れがひどい時は布に水を含ませ硬く絞ってから拭き取ってください。
  - ベンジン、シンナー、アルコール、油類、化粧品、洗剤等は表面仕上げを傷めるので使用しないでください。